

令和6年度保護林モニタリング簡易調査について

簡易調査について

保護林設定管理要領に基づき、保護林モニタリング調査は5年または10年間隔で実施し、10年間隔の保護林については、国有林野施業実施計画策定作業の前年度までに、職員による簡易調査を実施することとなっている。

対象保護林

モニタリング間隔を10年と定めている27保護林のうち、令和6年度は5保護林（いずれも希少個体群保護林）が対象（下図参照）。

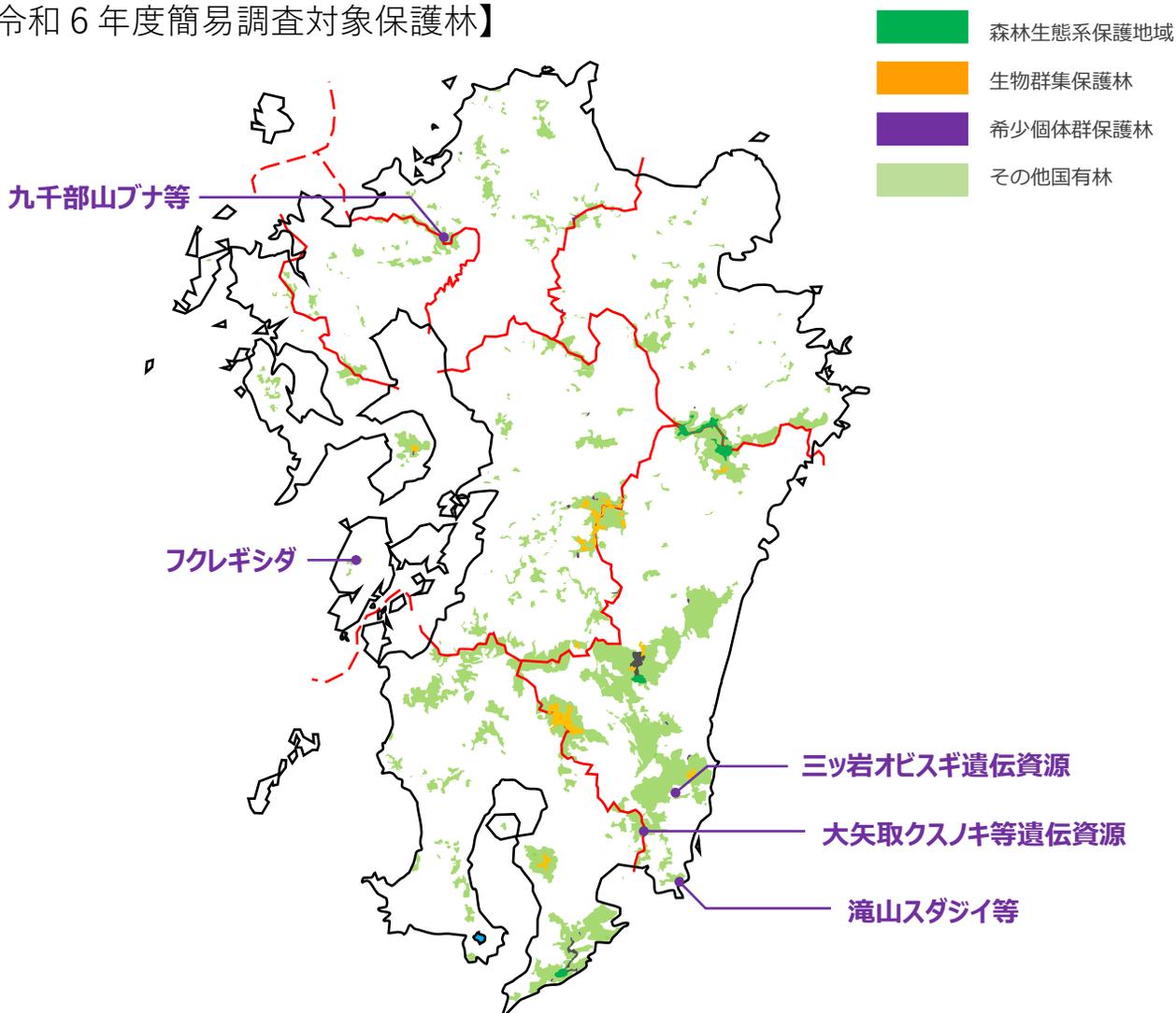
調査方法

保護林モニタリング中間現地簡易調査チェックシート（病虫害、鳥獣害、気象害、シカ被害レベル等）への記入、写真（プロット直上東西南北、その他シカ被害等）撮影、GNSSデータの記録

今後の対応

調査結果を踏まえ、必要に応じて保護林管理方針書等に反映。

【令和6年度簡易調査対象保護林】



くせんぶやま
九千部山ブナ等
希少個体群保護林

【資料5-1】

面積：86.74 ha
佐賀森林管理署

保護対象種

ミヤマシキミ、アカガシ、シラキ、ブナ等

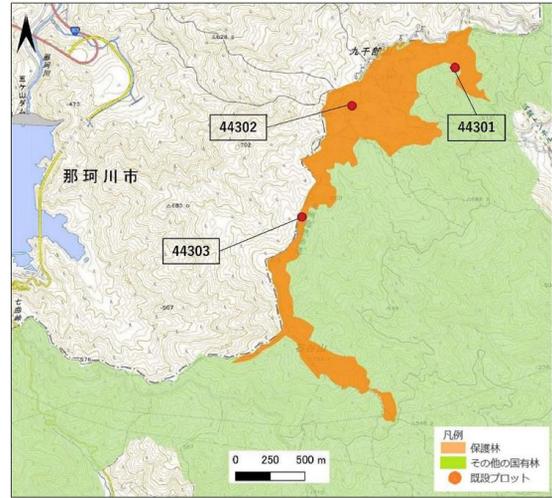
概況

前回調査時の主な高木・亜高木は、

- ・44301：アカガシ、タブノキ
- ・44302：カナクギノキ、リョウブ、アオハダ
- ・44303：アカガシ、ヤブツバキ、ブナ

今回の調査で林内の植生に大きな変化は
見られなかった。

シカ被害は特に見受けられない。



過年度調査との比較：R3.11 → R6.7



フクレギシダ 希少個体群保護林

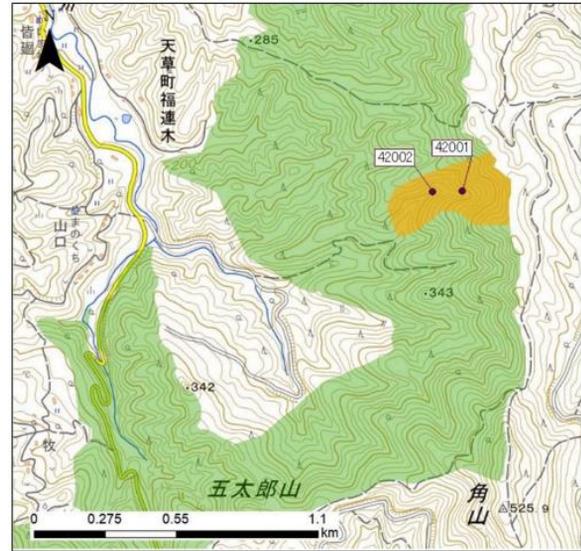
保護対象種

フクレギシダ

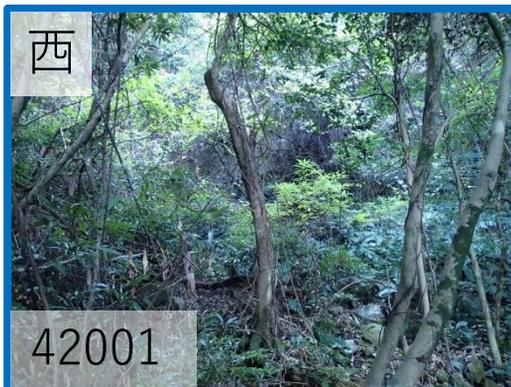
概況

前回調査時の主な高木・亜高木は、
 ・42001：ハナガガシ、バリバリノキ
 ・42002：イチイガシ、バリバリノキ

フクレギシダの生育が確認された。
 シカ被害は特に見受けられない。



過年度調査との比較：R2.11 → R6.7



みついわ
三ッ岩オビスギ遺伝資源
希少個体群保護林

【資料5-1】

面積：5.07 ha

宮崎南部森林管理署

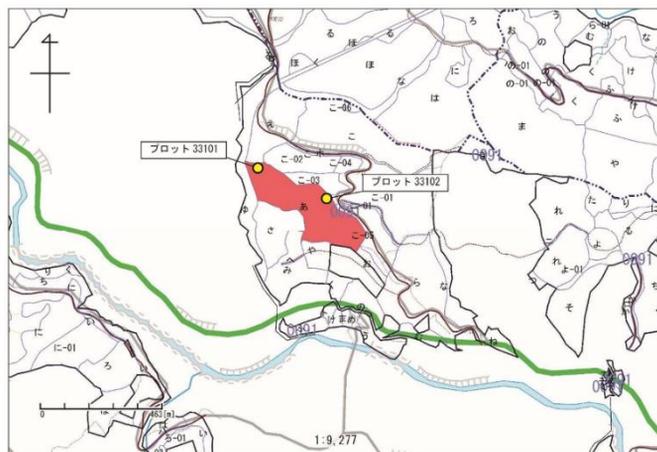
保護対象種

飢肥スギ

概況

前回調査時の主な高木・亜高木は、
・ 33101：スギ、スタジイ、
ヤブニッケイ、タブノキ
・ 33102：スギ、バリバリノキ

今回の調査で林内の植生に
大きな変化は見られなかった。
シカ被害は特に見受けられない。



過年度調査との比較：H29.8 → R6.6

33101



33102



大矢取クスノキ等遺伝資源 希少個体群保護林

保護対象種

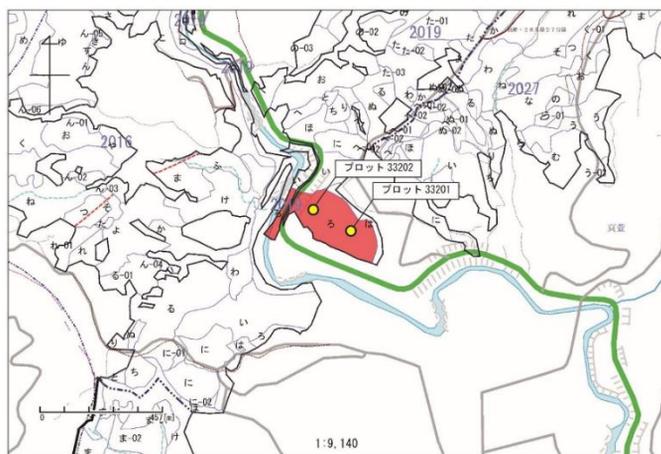
クスノキ、イチイガシ

概況

前回調査時の主な高木・亜高木は、

- ・ 33201：クスノキ、ヤブツバキ
- ・ 33202：イチイガシ、アラカシ、ヤブツバキ

今回の調査で林内の植生に大きな変化は見られなかった。
シカ被害は特に見受けられない。



過年度調査との比較：H29.8 → R6.7

33201



33202



滝山スタジイ等 希少個体群保護林

面積：4.71 ha

宮崎南部森林管理署

保護対象種

アラカシ、シイ類

概況

前回調査時の主な高木・亜高木は、
・43001：イスノキ
・43002：タブノキ、スタジイ

今回の調査で林内の植生に
大きな変化は見られなかった。
シカ被害は特に見受けられない。



過年度調査との比較：H29.8 → R6.12

43001



43002

